

## 民生教育常任委員会会議録

- 1 日 時 令和3年3月4日（木）  
午前9時58分～午前10時18分
- 2 場 所 議員協議会室
- 3 出席委員 委員長 大久保主計 副委員長 菊地昌夫  
委員 笹森波 委員 大泉徳子  
委員 荒川洋平 委員 郷内良治  
委員 長南良彦
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため 副市長 兼 我妻 諭  
健康福祉部長事務取扱 菊池博幸  
出席をした 教育部長 鈴木博幸  
者の職氏名 教育部理事 兼 鈴木博幸  
教学学校教育課長 早坂浩輝  
健康福祉部次長 兼 加藤公一  
社会福祉課長 宇田孝康  
こども支援課長 中山聖子  
介護長寿課長 補佐 松浦良勝  
健康福祉部企画員 兼 伊藤政文  
こども支援課長 補佐 朽木康裕  
介護長寿課長 補佐 川上真理子  
介護調整係長  
学校教育課長 補佐  
こども支援課主幹 兼  
子育て支援係長  
介護長寿課主幹 兼  
介護管理係長

介 護 長 寿 課 主 幹 兼	庄 司 かほり
長 寿 健 康 係 長	
学 校 教 育 課 主 幹 兼	尾 形 充
学 務 係 長	

6 事務局職員	事 務 局 長 相 澤 幸 也
	次長兼議会総務係長 西 村 雅 裕
	主 査 大 宮 透

## 7 付 議 事 件

- (1) 議案第17号 名取市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例
- (2) 議案第18号 名取市児童厚生施設条例の一部を改正する条例
- (3) 議案第19号 名取市介護保険条例の一部を改正する条例

午前9時58分 開会

○委員長（大久保主計） 出席委員は定足数に達しておりますので、委員会条例第14条の規定により委員会は成立いたしました。

ただいまから民生教育常任委員会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付の委員会次第書のとおりであります。

この際、報告をいたします。

委員会条例第19条の規定により、副市長、教育部長及び担当課長等の出席を求めていますので、報告いたします。

以上で報告を終わります。

それでは、付託議案の審査に入ります。

初めに、議案第17号 名取市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例を議題といたします。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。大泉徳子委員。

○委員（大泉徳子） 附則の経過措置の部分でお尋ねします。新委員会の委員の任期は、旧委員会の委員の残任期間とするとあり、今、委員は学校医及び専門医、学識経験者、市内小中義務教育学校の校長などで構成されているということですが、一貫した支援を専門的見地から指導するということで、今後、構成委員の入れ替わりなどはあるのかお尋ねします。

○委員長（大久保主計） 答弁、学校教育課長。

○学校教育課長（鈴木博幸） 委員御指摘のとおり、現在、委員は18名で構成しております。第1号から第5号委員ということで、専門的な知識を持つ教職員ほか、関係機関の職員、専門医などで構成しておりますが、この構成や人数について変更はありません。

○委員長（大久保主計） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） ほかになしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第17号 名取市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例を採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（大久保主計） 起立全員であります。よって、議案第17号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第18号 名取市児童厚生施設条例の一部を改正する条例を議題といたします。

これより質疑を行います。質疑はありますか。大泉徳子委員。

○委員（大泉徳子） 新たな遊具の増設はせずに学校の遊具を利用するという  
ことで、昨日、現場を少し拝見しましたが、既に増設の立派な2階建ての建物  
があり、今月中には引渡しという説明を受けてきました。児童センターの方  
からは、コロナ禍で子供たちがストレスを発散する場所も必要という話を聞  
いてきています。校庭の中にある遊具を使えるということでしたが、今後、  
子供たちが放課後という貴重な時間で体力増進やストレスの発散ができる  
よう、遊具の代わりに備品で工夫される点はあるのかお尋ねします。

○委員長（大久保主計） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（加藤公一） 体力増進のために備品の整備はあるか  
という御質疑かと思いますが、今後、現場の意見を聞きながらどのような  
備品が必要か調整し検討していきたいと思います。

○委員長（大久保主計） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） ほかになしと認めます。これをもって質疑を終  
結いたします。

これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結  
いたします。

これより、議案第18号 名取市児童厚生施設条例の一部を改正する条例を採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（大久保主計） 起立全員であります。よって、議案第18号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第19号 名取市介護保険条例の一部を改正する条例を議題といたします。

これより、質疑を行います。質疑はありますか。笹森 波委員。

○委員（笹森 波） 年額18万円以上年金支給のある方は介護保険料が天引きされ、年額18万円未満の方は年金から天引きされません。生活保護を受けている方は介護保険料が加算されている状態で生活保護費が支給されていますが、生活保護を受けていない低所得者が増えてきている現状があります。本市には低所得者の中で介護保険料が支払えないような方はいるのでしょうか。

○委員長（大久保主計） 答弁、介護長寿課長。

○介護長寿課長（宇田孝康） 本市内にも生活保護を受けている方はいますし、所得が低い方もいるかと思えます。介護保険料は収入に応じて保険料を段階別に設定して、低所得者の方には軽減された保険料を納付していただくこととしております。実際に色々な事情で納付期限までに納めていただけない方も中にはいますが、それぞれの事情を伺いながら納付を進めているという現状です。

○委員長（大久保主計） 笹森 波委員。

○委員（笹森 波） 人数はどれくらいいるか、把握されているのでしょうか。

○委員長（大久保主計） 答弁、介護長寿課長。

○介護長寿課長（宇田孝康） 生活保護を受けている方と低所得者を分けてはいませんが、一番所得の低い第1段階の人数としましては、令和2年10月1日現在で2,153人いると把握しております。

○委員長（大久保主計） ほかにありませんか。菊地昌夫委員。

○委員（菊地昌夫） 議案第19号資料として配られております名取市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（案）ですが、介護保険料を段階的に上げていくことについての具体的な取組が書かれています。今回の名取市高齢者福祉

計画及び第8期介護保険事業計画策定（案）に対する市民へのアンケートが市のホームページで紹介されていて、なるほどと思った部分ですが、資料の7ページにもあります高齢者の健康づくりについて、様々な行事の参加者がなかなか増えず、コロナ禍で反対に減っているという状況にあるということです。高齢者が介護予防に関する地域の様々な行事や活動に参加するため、どのように啓発していくのか、具体的な取組があればお伺いします。

○委員長（大久保主計） 答弁、介護長寿課長。

○介護長寿課長（宇田孝康） 高齢者が要介護認定を受けることなく生活するのが一番理想的な状態かと思います。そのためにも健康でいるのが重要であると認識しているところです。市としましては、そのために地域の身近なところに住民主体の通いの場をできるだけつくっていただいて、多くの方に参加をしていただきたいと考えており、地域包括支援センターと連携しながら、通いの場に参加することでこういった効果があるのかを地域の皆様にお伝えし、普及していきたいと思っています。委員御指摘のとおり、コロナ禍でなかなか集まることも難しい状況ですが、感染予防対策を周知しながら進めていきたいと考えています。

○委員長（大久保主計） 菊地昌夫委員。

○委員（菊地昌夫） 関連して、令和3年度より地域包括支援センターが1か所増えると資料にも出ておりますが、介護予防のための様々な活動や行事について、地域包括支援センター以外に公民館を借りる形など、身近な場所であるべく開催できるよう、具体的な取組のお考えがあれば伺います。

○委員長（大久保主計） 答弁、介護長寿課長。

○介護長寿課長（宇田孝康） 通いの場については先ほども申し上げたとおり、身近な場所ということで町内会の集会所や公民館など、歩いて行けるような距離にあることが理想だと思いますので、そういったところでの開催を働きかけていきたいと考えています。

○委員長（大久保主計） ほかにありませんか。笹森 波委員。

○委員（笹森 波） 2025年には介護職の方が37.7万人不足すると言われていきます。介護人材を確保する必要があると思いますが、ケアマネジャー受験者は激減しており、ヘルパーも低賃金で重労働であるためになかなか若い成り手が

いない現状があります。そのためにヘルパーも高齢化しており、若返りが図れないという問題が出てきております。人員不足で必要な介護サービスが提供できず、介護事業者の倒産が過去最多となっているということもあります。地域の事業所がなくなってしまうたら、介護を受けられない方が出て様々な問題が発生するかと思いますが、本市では介護施設の人員不足の問題や人員確保の対策が取られているか、把握はしているのでしょうか。

○委員長（大久保主計） 答弁、介護長寿課長。

○介護長寿課長（宇田孝康） 介護を担う方々が不足していることは報道でも御覧のとおりだと思います。本市独自でそういった人材を確保する方策を打ち出すことはなかなかできませんので、国や県が対策として行っていることを市内の事業所にPRしながら介護人材の確保に努めていただきたいと考えています。

○委員長（大久保主計） ほかにありませんか。菊地昌夫委員。

○委員（菊地昌夫） 先ほどの市民に対するアンケートの調査結果をみますと、地域包括支援センター自体を認知しているかの回答について、高齢者の総合相談窓口であることを知っている人が57.1%、反対に知らないという人が35.2%います。およそ35%の人が地域包括支援センターで介護予防ケアプランの作成や、相談ができることを知らないことに対して、地域包括支援センターの業務を知ってもらう必要があると思いますが、この点について何かお考えがあればお伺いします。

○委員長（大久保主計） 答弁、介護長寿課長。

○介護長寿課長（宇田孝康） 委員御指摘のとおり、まだ地域包括支援センターを御理解いただけない方もいますので、その活動の中ではもちろん、市の広報などを活用してPRを進めていきたいと考えています。

○委員長（大久保主計） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） ほかになしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第19号 名取市介護保険条例の一部を改正する条例を採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（大久保主計） 起立多数であります。よって、議案第19号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

この際、お諮りいたします。議案第17号から議案第19号に対する委員会審査報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大久保主計） 御異議なしと認めます。よって、委員会審査報告書の作成については委員長に一任することに決しました。

以上で付託議案の審査を終わります。

以上で本日の付議事件は全て終了いたしました。

本日の委員会はこれにて散会いたします。

大変お疲れさまでした。

午前10時18分 散会

令和3年3月4日

民生教育常任委員会

委員長 大久保 主計